



次に左への顔回しについてみると右眼外転位，左眼内転位の状態でみるため，右眼直筋の麻痺，左眼は斜筋の麻痺で上下偏位が大きくなる。

- 1 ○ 右への傾斜・左への顔回し
- 2 × 右への傾斜・左への顔回し
- 3 × 左への傾斜で上下偏位増大
- 4 × 左への傾斜で上下偏位増大
- 5 × 右への傾斜・右への顔回し

」

↓

〔正〕

「選択肢を見ると上下筋麻痺であるから，右方視（左への顔回し）右への頭部傾斜で上下偏位が顕著となる麻痺筋を選択する。

左への顔回しでは，右眼上直筋・下直筋，左眼上斜筋・下斜筋の麻痺で上下偏位が増大する。

右への頭部傾斜では，右眼上直筋・上斜筋，左眼下直筋・下斜筋の麻痺で上下偏位が増大する。

よって，右眼上直筋と左眼下斜筋が考えられるが，選択肢より，右眼上直筋となる。

- 1 ○
- 2 × 右への顔回し・右への傾斜で上下偏位が増大
- 3 × 左への顔回し・左への傾斜で上下偏位が増大
- 4 × 左への顔回し・左への傾斜で上下偏位が増大
- 5 × 右への顔回し・右への傾斜で上下偏位が増大

」

●68 頁 【47-133】 解説 1 行目 「複視を利用して斜視と抑制の有無を確認出来る」 → 削除